



Bike Machinery Trading Co.Ltd  
4F-1., No 499, Jhongming S. Rd,  
West district, Taichung, Taiwan  
itm@biketrading.com.tw

ITM Bike Componets Srl  
Piazza Camozzi, 9  
24064 Grumello del Monte (BG) - Italy  
sales@itm.it

www.itm.it

## ITMステム&HBユーザーマニュアル ITMステムおよびHBの正しい組立て方法

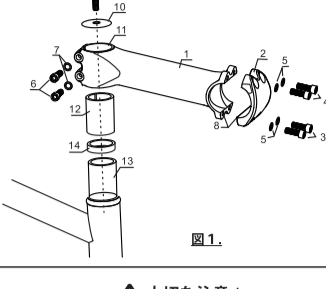


図1.

### ⚠️ 大切な注意！

ITMアヘッドセットシステムを正しく使用するには、以下の取扱説明書をお読みください。これら説明および更新は、以下のサイトからダウンロード可能です。www.itm.it

### ⚠️ 大切な注意！

自転車に乗ることは時としてまたしばしば、極めて危険な場合があります。ITMアヘッドセットシステムは、最先端の技術および材質を使って、設計・製造されておりますが、悪路の条件、衝突時の自転車のスピード、危険な気候条件、乗り手の体重、およびハンドリング技術が、実際に予測される衝撃エネルギーに寄与している要素の他、ITMアヘッドセットシステムの許容範囲外にある要素が存在します。ITMアヘッドセットシステムを含むどのシステムも、可能な衝突要素全てを支援することはできません。

ITMアヘッドセットシステムは欧州規格EN14781-14766-14764の基準を越えています。

当マニュアルとITMによって供給された文書全てには、重要な情報が含まれているので正しく保管してください。

### 注：

ITMは当ユーザーズマニュアルを変更する権利を留保します。その関連情報はITMのウェブサイト(www.itm.it)、またはITM公認ディーラーへのご連絡のいずれかによって得られます。これら3つのソースを定期的にチェックしてユーザーズマニュアルへの変更の有無をご確認ください。

### お知らせよく注意してお読みください

#### ⚠️ 大切な注意！

出発の前はいつも全ての自転車コンポーネントをチェックし、特にアヘッドセットシステムに注意を払ってください。破損または変形が全くないことを確認します。何か異常を発見した場合は、自転車を使わないでください。必要な修理交換には必ず専門メカニックにご連絡ください。

#### ⚠️ 大切な注意！

かかりつけのメカニックに、定期的にITMアヘッドセットシステムをチェックさせてください。ITMの蓄積された経験によると、専門メカニックによるコンポーネントへの予備点検を実施することによって、非常に多くの事故が容易に防止できることが示されています。

#### ⚠️ 大切な注意！

製品に使われる材質のタイプにしたがって、衝突または落下の後でも現状が維持されていることをチェックし、損傷に気づいたならば、直ちにそれを取り替えてください。

#### ⚠️ 大切な注意！

ITMは、即座に損傷部品を取り替えなかったことで生じた負傷または損傷についての責任を一切負いかねます。

#### ⚠️ 大切な注意！

ITMは、ボルト締め付けについて良心的に指示を守る失敗によって起こされた負傷または損傷についての責任を一切負いかねます。異なったボルト締め付けが全体に影響、特にITMアヘッドセットシステムの正常性に大きく影響します。

## 技術上の説明

- ITMアヘッドセットシステムは超軽量のプロフェッショナルなステムスファア5タイプフォークステアラーです。
- ヘッドセット設定：Φ28,6および25,4mm、減衰プッシュなし(付属)
- ハンドルバー用の穴：Φ31,8および25,4mm
- エキスパンション：70-80-90-100-110-120-130-140mm。
- 自転車乗り手の必要に応じてハンドル高さを調節する、オプション装備スペーシングが厚さ3-5-10-20mmにおいて入手可能です。
- 設計の仕上げ処理は陽極処理またはコーティングです。

## コンポーネントの組み立て方

### ⚠️ 大切な注意！

ITMアヘッドセットシステムはハイテク製品であるので、専用ツールを使う専門メカニックによって特に組み立てられる必要があります。ITMアヘッドセットシステムはご自身で調節を試みないでください。

### ⚠️ 大切な注意！

ユーザーが当社の推薦する方法に依らないと決めた場合、自己責任において良心的に当文書の指示に従い、リスクはユーザーが負うことになる点にご注意ください。

### ⚠️ 大切な注意！

ボルトは示されたトルク値に締め、必ずトルクレンチを使ってください。

これらの指示に従って実行されなかった操作の場合、ITMは責任を一切負いません。示されたトルク値に従うことは重要です。他の値では様々なコンポーネントを修復できないほど変形させるか、ボルトまたはコンポーネント自身を損傷し、全体の整合性も損なわれる恐れがあります。

## フォークステアラーにおけるアヘッドセットシステムの組み立て

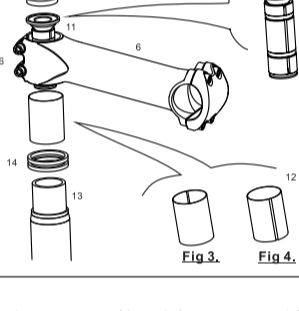
カーボンファイバーステアラー装備のフォークを使う場合、特別なクラッシュ防止装置(ステアラー内への装着用)を使います。これは市販されるか、フォーク自身またはITMエキスパンダに付属しています。当社は、エキスパンダとして、ステムを固定する部分より長い、十分な長さを持つ物をお勧めします。

微粒子の布ヤスリでアヘッドセットシステム(図1)の穴11をヤスリがけし、メチルアルコールで慎重に清掃します。

メチルアルコールでフォークステアラー(図1)を清掃し、グリスを除去します。

ボルト6(図1)を緩めます。

補填リング14(ITMオプション)はフォークステアラー13に挿入します。



Φ25.4のフォークステアラーの場合、減衰プッシュ12をアヘッドセットシステムに挿入します。メタルステアを持つフォークの場合、プッシングの縦の切り込みがアヘッドセットシステム(図3)の後部切り込みの方に位置するように注意します。

カーボンファイバーステアラー装備のフォークには、プッシングの縦の切り込みがクランプ(図4)のスリットとは反対向きになるよう位置を合わせます。

図2と5に示されるようにフォークステアラーにアヘッドセットシステムを挿入します。

ハンドルバー1の外側最上部とフォークステアラー13の内側最上部の間の距離Gは5mmを越えないようにします(図5)。アヘッドセットシステムを自転車の中心線と同軸上に合わせます。

ヘッドセット露出部の遊びが完全になくなるまで、ボルト9をワッシャ10と一緒にねじ込みます(ボルト9とワッシャ10はヘッドセットの一部)。

ボルト6をわずかに裏に巻き、アヘッドセットシステムを最も適当な位置に中心合わせします。

ボルト6を完全に外す必要があるならば、ワッシャ7とともに戻す前に、グリスアップします。

トルクレンチを使って、締め付けボルト6を表示されたトルクで締め、1回あたり1回転でそれらを必ず交互に固定します。

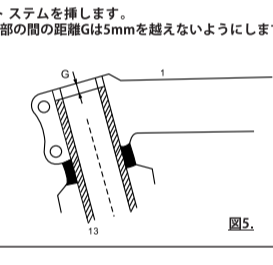


図5.

### ⚠️ 大切な注意！

アヘッドセットシステム上に表示されたトルク値を守ることは重要です。トルクレンチを常時使ってください。これらの指示において説明されるように、値が遵守されない締め付けについてITMは一切責任を負いません。示されたトルク値に従うことは重要です。他の値では様々なコンポーネントを修復できないほど変形させるか、ボルトまたはコンポーネント自身を損傷し、結果としてボルトおよびアヘッドセットシステム自体への損傷を引き起こす恐れがあります。

### ハンドルバーのアヘッドセットシステムへの適合

市販される溶剤(できればメチルアルコール)で穴8(図1)およびハンドルバーの中間部分を清掃、グリスアップします。アヘッドセットシステム1(図6)のシート上のハンドルバーを緩めて外します。

プレート2をハンドルバーに当てます。アヘッドセットシステムとプレート間の間隙がトップEとボトム(F)で両方とも同じになっていることを確認します。

ボルト3および4をワッシャ5と手で組み始めます。

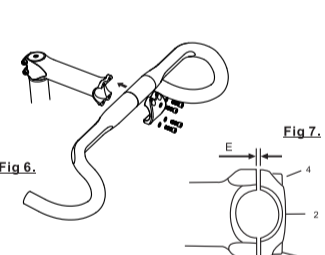
ボルト3と4を交互にねじ込みますが固定はしません。

ハンドルバーを中心に合わせ、最も適切な方向に向けます。

ボルト3および4を交互に締め、確実に1回転ずつ上下を固定し、締まるまでねじ込みます。

必ずトルクレンチを使ってください。

アヘッドセットシステムとプレート間の間隙がトップEとボトム(F)で同じ(E=F)であることを確認してください。



これらの指示に従って実行されなかった操作の場合、ITMは責任を一切負いません。示されたトルク値に従うことは重要です。他の値では様々なコンポーネントを修復できないほど変形させるか、ボルトまたはコンポーネント自身を損傷し、全体の整合性も損なわれる恐れがあります。

## 清掃とメンテナンス

研磨剤または溶剤を含んでいない、市販の洗浄剤を使って、定期的にアヘッドセットシステムを洗浄します。

ボルトを外す必要があるならば、それを戻す前に中性グリスをねじ切り部分に塗るようお勧めします。ボルトが汚れている場合、注油する前にグリス除去剤を使って洗浄する必要があります。

付属品と違うボルトは使わないでください。

ITMハンドルバー・アヘッドセットシステムがもはや使用されない場合、決して勝手に投棄しないでください。認可された処理場で製品を処理してください。

注：φ = 品目の直径

Nm = ニュートンメートル(ボルト締め付けのトルク測定単位)

ITMは、予告なしに改良と変更を行う権利を留保します。

## ハンドルバーへのARIESタイプシステムの装着

Ariesシステムは特別な3本ネジの隠れたシステムです。これは一般的に見られる通常の標準システムではないので、装着手順は全く異なります。

下記に説明された全ての指示に従うよう強くお勧めします。

主要な違いは、ARIESシステムが下部から届きやすい3つの隠れた固定ネジを有していることです。

最もよい結果を得るには、ダイナモメトリックレンチに実際のシステムとハンドルバーと接触しないようにすることをお勧めします。



## 操作方法

カーブ3.4をプレート2を装着します。

ネジ3.4.と5を手で穴に設置します。

ハンドルカーブを望む位置で中心合わせします。

できる限りネジ3と4を締めてから、ネジ5を最大2.5mmの余裕を取って締めます。

### ⚠️ 大切な注意！

ネジ3、4、および5は交互に締めないでください。このシステムを組み立てる時には上記の指示に厳密に従ってください。すなわち、できる限りネジ3と4を締めること、それから初めて、ダイナモメトリックレンチを使った適用可能な最大のトルクについて従いつつ、ネジ5をダイナモメトリックで締めます。

### ⚠️ 大切な注意！

上部と下部のシステムとプレート間のスペースが異なること、すなわち、上部が完全に閉じている一方、下部にはさらに締め付けが行える小さな間隙があることを確認します(図9)。

## お手入れ

市販されている一般的な溶剤(可能であればメチルアルコール)を使って、穴8(図8)およびハンドルバーカーブの中心部分を洗浄し慎重にグリスを除去します。

定期的にハンドルシステムをチェックし、損傷が見られる場合は、直ちに破損した部品を交換します。

2年ごとに全てのネジを交換します。

改造が行われるといずれの場合も、保証されている権利が無効になります。

## 保証の限度

保証の対象となる欠陥品を修理するか、交換する最終決定はITMの裁量にあります。ITMサービスセンターへの連絡が必要かどうかを決定するために定期的に製品をチェックすることはユーザー側の責任です。

保証期間中のクレームは認可を受けたITM販売業者を通して行われなければなりません。また、保証証と一緒に購入の証明が必要です。

## 保証に含まれない事項

- 製品の改造、正しくない使用法。
- 正しくなく組立てられたまたは修理された製品。
- 他の材質の使用によって損傷された、または未熟練の人員によって組み立てられた製品
- 競技会、アクロバットレース、または展示会において使われた製品
- 仕上げの美観
- 組立て/分解のための工賃
- 時間経過に伴う一般の自然な消耗